



英語で自己紹介をする  
維新小の5年生



ALT  
ポール・  
デレニー

ALTと一緒に歌って踊って英語に親しむ山田幼稚園の園児



聴く力と話す力に重点をおいた授業を受ける昭和中の2年生



ALT  
アニー・  
バラズィダ



体の動きや  
表情といっ  
しょに英語を  
学ぶ昭和小の  
3年生

# 英語特区スタート 英語で学ぶって楽しい

4月から昭和中学校区の4校園（昭和中、昭和小、維新小、維新幼稚園）と山田幼稚園で、英語を堂々と話し、国際社会で活躍できる人材を育てようと、一貫性をもたせた特別な英語教育を連携して行う「英語特区」がスタートしました。



文部科学省も  
絶賛

前川喜平 文部科学省初等中等教育局長

「文部科学省も、初等教育からの英語教育を充実させようとしているところ。総社市の英語特区での教育は全国に例を見ない意欲的なものなので、今後の取り組みにも注目していきたい」と話します

の学校と交流を行います。英語特区では学区による制限を設けず受け入れをした結果、市外からの2人を含めた13人（昭和中2人、昭和小4人、維新幼稚園1人、山田幼稚園6人）が学区外から入学・入園しました。今後は、英語特区の地域内への定住につながり、人口の減少が抑えられるこ

英語特区の5校園を担当する外国人の外国語指導助手（ALT）を3人配置。本場の英語を耳で聞き、会話を増やすことで英語力を上達させていきます。特に、力を入れるのが「イマージョン教育」。ALT、教諭、子どももすべて英語を使っている教育で、英語が理解しにくくても体を動かしたり歌ったりして「体験」しながら英語に慣れていくことを目的にしています。英語のレッスンは、幼稚園では年間110日以上。



ALT  
サルバドル・  
ドミンゴ

とが期待されています。担当の学校教育課の東長典課長は、「気後れせず人と関わる子どもを育てたい。さらには、子どもの英語をきっかけに、豊かな自然など地域の魅力にも気づき、地域にとけこんでもらえれば」と話します。  
問い合わせ 学校教育課  
(082)83358

歌やダンスで英語に親しみながら、あいさつの基本や数字、色などを学びます。また、県下で初めて幼稚園にも「イマージョン教育」を取り入れ、レッスン以外の遊びやおやつとの時間など、朝来てから帰るまでALTと英語で会話します。小中学校では通常より年間10〜35コマを増設。小学生は英検4級（中学2年修了レベル）、中学生は同2級（高校卒業レベル）の取得を目指します。また、小中学校で、オーストラリア